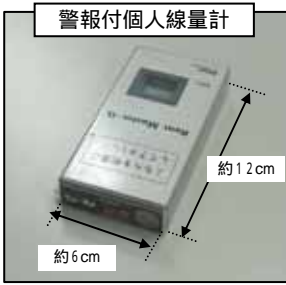


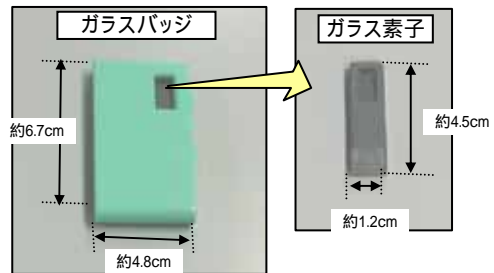
# 個人被ばく線量評価用ガラスバッジの誤った感度補正係数の使用について

## 当社の個人線量管理

放射線管理区域に立ち入り時の線量を測定  
(警報付個人線量計)



1カ月間の延べ線量を測定  
(ガラスバッジ)



線量評価

今回不具合が判明した測定機器

## 事象概要

線量計測会社  
(千代田テクノル)

ガラス素子の入荷

製造ロットごとに  
抜き取り

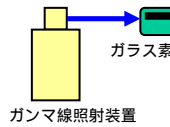
照射線量が低かったため、ガラス素子の感度を低く評価。(感度補正係数1.05倍)

照射施設

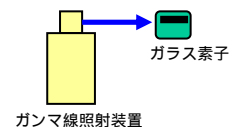
「感度補正係数<sup>1</sup>」取得のための基準照射試験

本来は200mRを照射するところ2mSv(190mRに相当)を照射した。照射線量5%不足

(正) 照射線量: 200mR



(誤) 照射線量: 2mSv(190mRに相当)



1 製造ロットごとの放射線感度の違いを補正するために、基準照射試験により補正係数を取得。

ガラスバッジに組立て  
延べ約6万3千個<sup>2</sup>

<sup>2</sup> 繰り返し使用分を含む

ガラスバッジ出荷

当社

ガラスバッジの使用  
延べ約1万個<sup>2</sup>  
(平成17年8月~12月にかけて使用)

ガラスバッジ測定依頼

ガラスバッジの線量読取り

感度補正係数が1.05倍となっていたため、読取り値が5%増

ガラスバッジ測定結果報告

測定結果受領

調査を実施したところ、  
不具合判明

調査依頼

線量評価

- ・評価結果の記録
- ・従事者への通知
- ・定期報告  
(法令・安全協定・通達)